



## 2023年9月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年11月14日  
東

上場会社名 株式会社プレイド 上場取引所  
 コード番号 4165 URL <https://plaid.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役執行役員CEO (氏名) 倉橋 健太  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員CFO (氏名) 武藤 健太郎 (TEL) 050 5434 8563  
 定時株主総会開催予定日 2023年12月21日 配当支払開始予定日 —  
 有価証券報告書提出予定日 2023年12月22日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2023年9月期の連結業績(2022年10月1日~2023年9月30日)

## (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		調整後営業利益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年9月期	8,633	18.3	△490	—	△881	—	△938	—	△2,108	—
2022年9月期	7,295	34.0	△718	—	△882	—	△983	—	△930	—

(注) 1. 包括利益 2023年9月期 △2,128百万円(—%) 2022年9月期 △981百万円(—%)

2. 調整後営業利益=営業利益+のれん償却額+株式報酬費用+その他一時費用

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2023年9月期	△53.92	—	△63.5	△14.1	△10.2
2022年9月期	△24.30	—	△20.9	△14.0	△12.1

(参考) 持分法投資損益 2023年9月期 -百万円 2022年9月期 -百万円

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年9月期	6,219	2,748	41.7	65.89
2022年9月期	7,091	4,070	57.2	104.98

(参考) 自己資本 2023年9月期 2,592百万円 2022年9月期 4,052百万円

## (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2023年9月期	△325	△89	0	3,827
2022年9月期	△809	△135	1,012	4,240

## 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2022年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2023年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2024年9月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—

## 3. 2024年9月期の連結業績予想(2023年10月1日~2024年9月30日)

(%表示は、通期は対前期増減率)

	売上高		調整後営業利益	
	百万円	%	百万円	%
通期	10,666	23.5	14	—

(注) 調整後営業利益=営業利益+のれん償却額+株式報酬費用+その他一時費用

※ 注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年9月期	39,343,617株	2022年9月期	38,606,900株
② 期末自己株式数	2023年9月期	137株	2022年9月期	63株
③ 期中平均株式数	2023年9月期	39,103,336株	2022年9月期	38,305,550株

(参考) 個別業績の概要

1. 2023年9月期の個別業績（2022年10月1日～2023年9月30日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年9月期	7,644	16.7	△397	—	△423	—	△2,331	—
2022年9月期	6,551	20.3	△433	—	△505	—	△523	—
	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益					
	円 銭		円 銭					
2023年9月期	△59.63		—					
2022年9月期	△13.67		—					

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円 銭		
2023年9月期	5,479		2,605		47.4	66.04		
2022年9月期	7,133		4,411		61.8	114.11		

(参考) 自己資本 2023年9月期 2,598百万円 2022年9月期 4,405百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判

断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	3
(2) 当期の財政状態の概況 .....	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	4
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 連結貸借対照表 .....	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	7
連結損益計算書 .....	7
連結包括利益計算書 .....	8
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	13
(継続企業の前提に関する注記) .....	13
(連結損益計算書関係) .....	13
(セグメント情報等) .....	14
(1株当たり情報) .....	16
(重要な後発事象) .....	16

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当社グループは「データによって人の価値を最大化する」をミッションに掲げ、世の中に溢れる様々なデータを生活者(注1)にとって価値あるものとして還元し、豊かな体験を流通させることを目的に、当社の提供するCX(注2)(顧客体験)プラットフォーム「KARTE」をウェブサイトやスマートフォンアプリを運営する企業に向けて、クラウド方式(注3)で提供しております。

ショッピングや旅行、金融など様々なサービスがインターネットを介して提供されるようになった今、生活者が企業にもとめることは、「自宅にいながら買い物できる」「予約できる」といった単なる利便性だけではなく、自分の興味や状態に合った最適な提案を受けられる良質なコミュニケーションやその先の体験へとシフトしていると当社グループは考えております。

一方で、企業がそれに応えるためには、データの蓄積、統合、分析を通じて一人ひとりの状態を正しく理解し、それに基づいて適切なコミュニケーションを図る、あるいはウェブサイトやスマートフォンアプリをパーソナライズさせる仕組みを構築する必要がありますが、これらの取り組みは企業にとって複雑で難易度の高いものとなっているのが現状です。

企業は「KARTE」を活用することにより、ウェブサイトやスマートフォンアプリ上のリアルタイム行動データを中心とする様々なデータを、ユーザー単位で解析することができます。それによって、一人ひとりの興味や状態が可視化され、ユーザーをPV(注4)やUU(注5)といった塊の「数字」としてだけではなく、一人の「人」として理解しやすくなると当社グループは考えております。その上で企業は、「KARTE」内で一人ひとりの興味や状態に合わせた多様なコミュニケーション施策を実施し、その結果を検証することなどができます。

顧客体験向上やデータ活用に対する企業の関心が高まる中、「KARTE」はウェブサイトやスマートフォンアプリ上のマーケティング領域に留まらず、カスタマーサポート領域など様々な企業活動において活用いただいております。今後も「KARTE」の機能強化や各種プロダクトの提供を通じて、企業が統合的にユーザーを理解できるデータ環境の拡充を進めていきます。

当連結会計年度においては、「KARTE」の販売強化に向けた組織変更や人員増強を行ったほか、更なる事業領域の拡大に向けた取り組みも行いました。

この結果、当連結累計期間の末日における当社グループのARR(注6)は8,035,156千円となり、同期間の当社グループの経営成績は、売上高は8,633,638千円(前年同期比18.3%増)、営業損失は881,423千円(前年同期は営業損失882,541千円)、経常損失は938,343千円(前年同期は経常損失983,503千円)、親会社株主に帰属する当期純損失は2,108,610千円(前年同期は親会社株主に帰属する当期純損失930,777千円)となりました。

なお、当社グループの報告セグメントは、SaaS事業及び広告事業であります。広告事業の全セグメントに占める割合が僅少であり、開示情報としての重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。

(注1) 世の中一般の不特定多数の人々を「生活者」、企業が商品・サービスを提供する相手を「ユーザー」と表記しております。

(注2) Customer Experience(カスタマーエクスペリエンス)の略語であり、一般的に「顧客体験」と訳されますが、顧客がよいと感じられる体験、つまり「顧客が体験して得られる価値」までも含めて定義しております。

(注3) クラウドコンピューティングの略語であり、ソフトウェア等のシステムをインターネット経由でサービス提供することを前提とした仕組みの総称であります。

(注4) Page View(ページビュー)の略語であり、ウェブサイト内の特定ページが開かれた回数を表し、ウェブサイトがどのくらい閲覧されているかを測るための指標の一つです。

(注5) Unique User(ユニークユーザー)の略語であり、特定の集計期間内にウェブサイト又はスマートフォンアプリに訪問したユーザーの数を表す数値です。

(注6) Annual Recurring Revenueの略語であり、各期末の月次サブスクリプション売上高を12倍して算出。既存の契約が更新のタイミングで全て更新される前提で、既存の契約のみから、期末月の翌月からの12ヶ月で得られると想定される売上高を表す指標です。

## (2) 当期の財政状態の概況

## (流動資産)

当連結会計年度末における流動資産は5,300,501千円となり、前連結会計年度末に比べ151,652千円増加いたしました。これは主に長期借入金の返済により普通預金が413,217千円減少した一方で、取引規模の拡大により受取手形及び売掛金が270,022千円増加したこと、前払費用が268,472千円増加したことによるものであります。

## (固定資産)

当連結会計年度末における固定資産は918,893千円となり、前連結会計年度末に比べ1,023,559千円減少いたしました。これは主に長期前払費用が113,989千円増加した一方で、のれんに関する減損損失等を計上したことにより、のれんが1,104,766千円減少したことによるものであります。

## (流動負債)

当連結会計年度末における流動負債は2,461,527千円となり、前連結会計年度末に比べ579,610千円増加いたしました。これは主に短期借入金が190,340千円及び1年内返済予定の長期借入金が返済によって128,448千円減少した一方で、預り保証金が300,000千円増加したことによるものであります。

## (固定負債)

当連結会計年度における固定負債は1,009,033千円となり、前連結会計年度末に比べ130,209千円減少いたしました。これは主に長期借入れの返済により、長期借入金が135,898千円減少したことによるものであります。

## (純資産)

当連結会計年度末における純資産合計は2,748,833千円となり、前連結会計年度末に比べ1,321,307千円減少いたしました。これは主に親会社株主に帰属する当期純損失2,108,610千円を計上したことによるものであります。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、3,827,359千円(前年同期比9.7%減)となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は325,088千円(同59.8%減)となりました。これは主に減損損失1,133,159千円、株式報酬費用205,477千円、のれん償却額185,848千円、未払金の増加額201,707千円を計上した一方で、税金等調整前当期純損失2,125,760千円を計上したことによるものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は89,033千円(同34.1%減)となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出46,714千円及び連結範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出49,416千円等があったことによるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は905千円(同99.9%減)となりました。これは主に短期借入金の返済による支出207,506千円、長期借入れによる収入1,080,997千円、長期借入金の返済による支出1,488,985千円、預り保証金による収入300,000千円、非支配株主からの払込みによる収入407,847千円等があったことによるものであります。

## (4) 今後の見通し

当社グループの2024年9月期の売上高は、10,666百万円(2023年9月期比23.5%増)としております。当社におけるSaaS事業の既存顧客との取引拡大に加えて、子会社における売上高の増加を見込むものであります。

営業損益につきましては、14百万円の調整後営業利益(2023年9月期は調整後営業損失490百万円)となる見通しであります。これは、既存のSaaS事業においてはリソース配分の適正化や採算性を意識した費用投下により実態的な収益性は改善方向である一方で、円安影響や子会社を含む新規事業領域への2025年9月期以降の成長を見据えた戦略的なコスト投下によるものであります。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年9月30日)	当連結会計年度 (2023年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,240,577	3,827,359
受取手形及び売掛金	710,444	980,467
前払費用	147,639	416,111
その他	50,186	76,562
流動資産合計	5,148,848	5,300,501
固定資産		
有形固定資産		
建物	26,227	26,227
減価償却累計額	△26,186	△26,227
建物(純額)	40	0
工具、器具及び備品	164,371	181,966
減価償却累計額	△103,597	△124,369
工具、器具及び備品(純額)	60,773	57,597
有形固定資産合計	60,814	57,597
無形固定資産		
のれん	1,444,600	339,833
無形固定資産合計	1,444,600	339,833
投資その他の資産		
投資有価証券	110,395	56,137
役員に対する長期貸付金	—	10,007
繰延税金資産	—	33,225
敷金及び保証金	310,218	303,862
従業員に対する長期貸付金	16,414	4,229
その他	10	117,387
貸倒引当金	—	△3,388
投資その他の資産合計	437,038	521,461
固定資産合計	1,942,452	918,893
資産合計	7,091,301	6,219,394

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年9月30日)	当連結会計年度 (2023年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	5,632	9,150
短期借入金	200,000	1,660
1年内返済予定の長期借入金	513,076	384,628
未払金	456,581	742,290
未払法人税等	32,272	55,253
契約負債	396,699	504,487
受注損失引当金	9,289	54,429
その他	268,366	709,628
流動負債合計	1,881,916	2,461,527
固定負債		
長期借入金	1,126,438	990,540
繰延税金負債	12,805	18,493
固定負債合計	1,139,243	1,009,033
負債合計	3,021,160	3,470,561
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,690,028	2,945,895
資本剰余金	4,650,030	5,029,365
利益剰余金	△3,315,980	△5,424,590
自己株式	△228	△279
株主資本合計	4,023,850	2,550,391
その他の包括利益累計額		
繰延ヘッジ損益	29,015	41,904
その他の包括利益累計額合計	29,015	41,904
新株予約権	5,718	7,147
非支配株主持分	11,557	149,390
純資産合計	4,070,140	2,748,833
負債純資産合計	7,091,301	6,219,394

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年10月1日 至 2022年9月30日)	当連結会計年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)
売上高	7,295,234	8,633,638
売上原価	1,928,065	2,396,873
売上総利益	5,367,168	6,236,764
販売費及び一般管理費	6,249,710	7,118,188
営業損失(△)	△882,541	△881,423
営業外収益		
受取利息	244	210
助成金収入	855	286
受取手数料	989	283
その他	1,174	3,383
営業外収益合計	3,265	4,164
営業外費用		
支払利息	27,515	20,447
支払報酬料	12,453	2,000
支払手数料	2,506	16,082
為替差損	58,676	13,497
その他	3,074	9,057
営業外費用合計	104,227	61,084
経常損失(△)	△983,503	△938,343
特別損失		
減損損失	7,028	1,133,159
投資有価証券評価損	13,934	54,257
特別損失合計	20,963	1,187,417
税金等調整前当期純損失(△)	△1,004,467	△2,125,760
法人税、住民税及び事業税	4,400	22,403
法人税等調整額	—	△6,844
法人税等合計	4,400	15,558
当期純損失(△)	△1,008,867	△2,141,318
非支配株主に帰属する当期純損失(△)	△78,090	△32,708
親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△930,777	△2,108,610

## (連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年10月1日 至 2022年9月30日)	当連結会計年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)
当期純損失(△)	△1,008,867	△2,141,318
その他の包括利益		
繰延ヘッジ損益	27,416	12,888
その他の包括利益合計	27,416	12,888
包括利益	△981,451	△2,128,430
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△903,360	△2,095,721
非支配株主に係る包括利益	△78,090	△32,708

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2021年10月1日 至 2022年9月30日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2,642,620	4,602,623	△2,385,202	△114	4,859,926
当期変動額					
新株の発行(譲渡制限付株式報酬)					—
新株の発行(新株予約権の行使)	47,407	47,407			94,815
親会社株主に帰属する当期純損失(△)			△930,777		△930,777
自己株式の取得				△113	△113
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動					—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	47,407	47,407	△930,777	△113	△836,076
当期末残高	2,690,028	4,650,030	△3,315,980	△228	4,023,850

	その他の包括利益累計額		新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	繰延ヘッジ損益	その他の包括利益累計額合計			
当期首残高	1,598	1,598	2,287	89,647	4,953,459
当期変動額					
新株の発行(譲渡制限付株式報酬)					—
新株の発行(新株予約権の行使)					94,815
親会社株主に帰属する当期純損失(△)					△930,777
自己株式の取得					△113
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動					—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	27,416	27,416	3,430	△78,090	△47,242
当期変動額合計	27,416	27,416	3,430	△78,090	△883,318
当期末残高	29,015	29,015	5,718	11,557	4,070,140

当連結会計年度(自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2,690,028	4,650,030	△3,315,980	△228	4,023,850
当期変動額					
新株の発行(譲渡制限付株式報酬)	236,104	236,104			472,208
新株の発行(新株予約権の行使)	19,762	19,762			39,525
親会社株主に帰属する当期純損失(△)			△2,108,610		△2,108,610
自己株式の取得				△50	△50
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動		123,468			123,468
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	255,866	379,334	△2,108,610	△50	△1,473,459
当期末残高	2,945,895	5,029,365	△5,424,590	△279	2,550,391

	その他の包括利益累計額		新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	繰延ヘッジ損益	その他の包括利益累計額合計			
当期首残高	29,015	29,015	5,718	11,557	4,070,140
当期変動額					
新株の発行(譲渡制限付株式報酬)					472,208
新株の発行(新株予約権の行使)					39,525
親会社株主に帰属する当期純損失(△)					△2,108,610
自己株式の取得					△50
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動					123,468
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	12,888	12,888	1,429	137,833	152,151
当期変動額合計	12,888	12,888	1,429	137,833	△1,321,307
当期末残高	41,904	41,904	7,147	149,390	2,748,833

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年10月1日 至 2022年9月30日)	当連結会計年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純損失 (△)	△1,004,467	△2,125,760
のれん償却額	160,511	185,848
減価償却費	36,490	41,563
敷金償却費	—	2,816
株式報酬費用	3,430	205,477
減損損失	7,028	1,133,159
投資有価証券評価損益 (△は益)	13,934	54,257
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△525	3,388
受注損失引当金の増減額 (△は減少)	9,289	45,140
受取利息	△244	△210
助成金収入	△855	△286
受取手数料	△989	△283
支払利息	27,515	20,447
支払手数料	2,506	16,082
支払保証料	—	3,944
有形固定資産売却損益 (△は益)	184	198
売上債権の増減額 (△は増加)	△64,460	△187,949
破産更生債権等の増減額 (△は増加)	—	△3,388
前払費用の増減額 (△は増加)	△14,808	△103,453
未払金の増減額 (△は減少)	△125,034	201,707
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△72,821	24,643
前受収益の増減額 (△は減少)	△165,019	—
契約負債の増減額 (△は減少)	396,699	107,293
その他	17,717	113,973
小計	△773,920	△261,390
利息及び配当金の受取額	244	210
助成金の受取額	855	286
手数料の受取額	989	283
利息の支払額	△27,515	△27,209
法人税等の支払額	△9,887	△37,270
営業活動によるキャッシュ・フロー	△809,233	△325,088
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
投資有価証券の取得による支出	△39,684	—
有形固定資産の取得による支出	△74,321	△46,714
有形固定資産の売却による収入	1,689	1,114
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△49,416
敷金及び保証金の差入による支出	△25,713	△332,753
敷金及び保証金の回収による収入	798	336,579
従業員に対する長期貸付金の回収による収入	2,134	2,156
その他	△10	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△135,108	△89,033

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年10月1日 至 2022年9月30日)	当連結会計年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	200,000	—
短期借入金の返済による支出	△200,000	△207,506
長期借入れによる収入	1,550,000	1,080,997
長期借入金の返済による支出	△626,576	△1,488,985
預り保証金の受入による収入	—	300,000
シンジケートローン手数料の支払額	△4,506	△3,246
新株予約権の行使による株式の発行による収入	93,997	39,237
自己株式の取得による支出	△113	△50
非支配株主からの払込みによる収入	—	407,847
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	—	△127,389
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,012,801	905
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	68,459	△413,217
現金及び現金同等物の期首残高	4,172,117	4,240,577
現金及び現金同等物の期末残高	4,240,577	3,827,359

## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

## (連結損益計算書関係)

## ※減損損失

当社グループは、以下の資産グループについて減損損失を計上しました。

当連結会計年度(自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)

(単位:千円)

場所	用途	種類	減損損失
東京都港区	事業用資産	工具、器具及び備品	11,540
東京都港区	-	のれん	1,121,618
合計			1,133,159

## 減損損失の計上に至った経緯

- ① 当社グループは、工具、器具及び備品について、SaaS事業の収益性が低下し投資額の回収が見込めなくなったため、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、11,540千円を減損損失として特別損失に計上しております。
- ② 株式会社エモーションテックの株式取得により発生したのれんについて、当初想定した収益の獲得が見込めなくなったため、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額1,121,618千円を減損損失として特別損失に計上しております。

## グルーピングの方法

当社グループでは、管理会計上の区分を基礎として資産のグルーピングを行っております。

## 回収可能額の算定方法

- ① 事業用資産の回収可能価額は、資産の耐用年数、資金生成単位により生じることが予想される見積将来キャッシュ・フローを用いて算定しております。なお、将来キャッシュ・フローがマイナスと見込まれるため、使用価値はゼロとして算定しております。
- ② のれんの回収可能価額については、将来の事業計画に基づく使用価値により測定しており、将来キャッシュ・フローを20.5%で割引いて算定しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

前連結会計年度(自 2021年10月1日 至 2022年9月30日)

当社グループは、SaaS事業の単一セグメントであるため、記載を省略しています。

当連結会計年度(自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)

当社グループの報告セグメントは、SaaS事業及び広告事業であります。広告事業の全セグメントに占める割合が僅少であり、開示情報としての重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。

## 【関連情報】

前連結会計年度(自 2021年10月1日 至 2022年9月30日)

## 1. 製品及びサービスごとの情報

(単位：千円)

	プロダクト	サービス	その他	合計
外部顧客への売上高	6,475,133	820,101	—	7,295,234

## 2. 地域ごとの情報

## (1) 売上高

本邦以外の外部顧客への売上高がないため、該当事項はありません。

## (2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

## 3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、損益計算書の売上高の10%以上を占める相手がないため、記載を省略しております。

当連結会計年度(自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)

## 1. 製品及びサービスごとの情報

(単位：千円)

	プロダクト	サービス	その他	合計
外部顧客への売上高	7,335,082	1,287,954	10,601	8,633,638

## 2. 地域ごとの情報

## (1) 売上高

本邦以外の外部顧客への売上高がないため、該当事項はありません。

## (2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、損益計算書の売上高の10%以上を占める相手がないため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度(自 2021年10月1日 至 2022年9月30日)

当社グループは、SaaS事業の単一セグメントであるため、記載を省略しています。

当連結会計年度(自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)

当社グループの報告セグメントは、SaaS事業及び広告事業であります。広告事業の全セグメントに占める割合が僅少であり、開示情報としての重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度(自 2021年10月1日 至 2022年9月30日)

当社グループは、SaaS事業の単一セグメントであるため、記載を省略しています。

当連結会計年度(自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)

当社グループの報告セグメントは、SaaS事業及び広告事業であります。広告事業の全セグメントに占める割合が僅少であり、開示情報としての重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度(自 2021年10月1日 至 2022年9月30日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)

該当事項はありません。

## (1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2021年10月1日 至 2022年9月30日)	当連結会計年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)
1株当たり純資産額	104.98円	65.89円
1株当たり当期純損失(△)	△24.30円	△53.92円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり当期純損失であるため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純損失の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2021年10月1日 至 2022年9月30日)	当連結会計年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)
親会社株主に帰属する当期純損失(△)(千円)	△930,777	△2,108,610
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純損失(△)(千円)	△930,777	△2,108,610
普通株式の期中平均株式数(株)	38,305,550	39,103,336
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株 当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式 の概要	新株予約権1種類(新株予約 権の数 普通株式5,000株)	新株予約権2種類(新株予約 権の数 普通株式449,000株)

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。